

特集) 首都圏: 新築住宅市場(戸建・マンション)について P.1～18

- 【1】-① 首都圏: 新築住宅(戸建・マンション)の動向
- ②・③ 都県別でみた新築住宅の供給動向・価格動向
- 【2】-①～⑤ 行政市区別: 「新築住宅(戸建・マンション)」の供給状況について
- 【3】 新築戸建(大規模分譲地系)の総区画(規模)・駅距離の傾向

～戸建・マンション混在エリアの行政市区の物件事例～

- 【4】 武蔵野市(吉祥寺): 戸建事例: 『グローイングスクエア吉祥寺南町グランディスト』
- 【5】 宮前区(宮崎台～宮前平): 戸建事例: 『グローイングスクエア宮前平グランデ』
- 【6】 『マンション』・『戸建』検討層の属性傾向・購入の際の重点について
- 【まとめ】

マーケットピックス) 直近の販売好調・堅調物件事例 P.1～6

- 【1】 <<千葉>> 『THE RESIDENCE新鎌ヶ谷TERMINAL FRONT』
- 【2】 <<埼玉>> 『ソライエ南桜井』
- 【3】 <<23区>> 『ザ・パークワンズ日本橋人形町』
- 【4】 <<23区>> 『グランレ・ジェイド三宿通り』
- 【まとめ】

■ 2025年5月: 特集レポートダイジェスト ■

特集) 首都圏: 新築住宅市場(戸建・マンション)について

首都圏の新築住宅(マンション・戸建)市場では、『新築マンション』の供給戸数が、2022年以降に3万戸を切る中、2019年以降、『新築戸建』は『新築マンション』の約2倍のボリューム量で推移。

また、検討する住宅の種類は、新築住宅(マンション・戸建)が約60%と高い状況ながら、第1希望が『新築戸建』の検討層についても、『新築マンション』を並行検討する方が、過去からみると上昇傾向となっている。

本レポートでは、新築住宅(マンション・戸建)について、物件種別でみた供給戸数・価格動向の傾向、物件事例等から、新築マンションのプロジェクト推進のヒントについて考えました。

マーケットピックス) 直近の販売好調・堅調物件事例

最近の新規スタート物件や継続物件をみると、郊外ではグロス圧縮傾向が進む中、戸建がメインのエリアにおいても、立地優位性や新築分譲マンションならではの商品性から堅調な物件が散見。

また、23区では、戸建と同等程度の広さを持つ100㎡超の住戸も好調に進捗している。

本レポートでは、そういった物件事例を取り上げ、供給商品や購入者属性等を検証し、今後の商品企画のヒントを探りました。